

■ 済生会について

済生会は、明治44年（1911年）明治天皇の医療を受けることができないで困っている人たちに施業救療（せやくきゆうりょう無償で医療を行い生を済う）の途を講ずるようというご趣旨である「済生勅語」（さいせいちよくご）に基づき創立されました。

現在、日本最大の社会福祉法人として全職員約67,000人が40都道府県で医療・保健・福祉活動を展開しています。創立の心を受け継ぎながら、100年以上の歴史と伝統で培った医療・保健・福祉を総合的に提供することが、われわれの最大の使命だと考えています。

■ 病院の理念

患者さんを中心とした質の高い医療の提供により地域・社会に貢献します

■ 病院長あいさつ

済生会川口総合病院は、昭和15年（1940年）に社会福祉法人恩賜財団済生会に所属する病院として設立しました。埼玉県南部、東京から荒川をはさんだ川口市に位置し、人口約60万の川口市と、隣接する戸田市・蕨市を含めた約80万人の地域医療を支える急性期型の中核病院です。臨床研修指定病院、救急指定医療機関、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、地域医療支援病院としての機能を担っています。

また、健診センターを併設し、各種健康診断や人間ドックを通じて疾患の早期発見に努め、予防医学の充実を

図っています。

さらに、医師の卒後臨床研修病院であるとともに、看護専門学校を併設し、医療人育成にも力を注いでおります。当院の理念は「患者さんを中心とした質の高い医療の提供により地域・社会に貢献します」です。患者さんやご家族の幸せに寄り添い、心の通う医療を実践することを使命としております。

今後も高度医療・救急医療の充実に回り、質の高い安全な医療の提供に全力を尽くしてまいります。何とぞ皆さまの温かいご支援をお願い申し上げます。



病院長
佐藤 雅彦

■ 病院概要

開設日	1940年 4月15日
病床数	一般 414 床
標榜科目	内科 / 循環器内科 / 消化器内科 / 呼吸器内科 / 腎臓内科 / 糖尿病・内分泌内科 / 神経内科 / 腫瘍内科 / 放射線科 / 外科 / 整形外科 / 脳神経外科 / 泌尿器科 / 産婦人科 / 血管外科 / 呼吸器外科 / 眼科 / 耳鼻咽喉科 / 皮膚科 / 心臓外科 / 麻酔科 / 小児科 / 精神科 / リハビリテーション科 / 病理診断科 / 臨床検査科

従業員数	1,275 名（常勤 1,086 名、非常勤 189 名） ※2026年5月現在
認定	日本医療機能評価機構（3rdG:Ver1.0）、卒後臨床研修評価機構認定、DPC対象病院 等

診療指定	救急指定医療機関（二次救急）、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、地域周産期母子医療センター、臨床研修病院、がんゲノム医療連携病院 等
------	--

 社会福祉法人 恩賜 済生会支部
埼玉県済生会川口総合病院

診療時間
平日 8:30～17:00（診療開始 9:00～）

所在地
〒332-8558
埼玉県川口市西川口5-11-5

TEL
0570-08-1551（代表）

FAX
048-256-5703（代表）

2026年 8月版



 社会福祉法人 恩賜 済生会支部
埼玉県済生会川口総合病院

かんごじょしゅ 看護助手

看護助手は、看護チームの一員として、多くの責任と大切な役割を担い、患者さんの身の回りのケアや、看護師のサポートなどを通し、医療の現場を支えています。



“笑顔”
“元気”
“やりがい”

看護はチームで常に患者さんのそばにいて、苦痛を和らげ回復を支援する仕事です。看護助手は、その看護チームの一員です。

患者さんは体のどこかが病気で心も弱っています。そんな患者さんに“笑顔”で接し、療養環境を整えることで“元気”になる手助けをする“やりがい”のある仕事です。

看護補助者の経験は、将来のキャリアの選択肢（介護福祉士、看護師など）を増やすことにも、つながります。

ぜひ、私たちと一緒に働きましょう！



看護部長
高橋 郁子

看護チームの一員として、患者さんに携われることに、やりがいを感ずます。



外来勤務 11年目
出産を経て、また働きたいと考えた時、子育てと両立ができ、人の役に立つ仕事がしたいと思いました。その際、学生時代にアルバイトをしていたクリニックでの経験から、看護助手の仕事を選びました。現在の仕事は主に、化学療法室、内視鏡室、血管撮影室などへの薬品の受け渡しや、検体搬送、物品補充ベッド清掃、患者さんの搬送などを行い、医師や外来看護師が働きやすいようサポートをしています。

就職活動中の方へメッセージ

看護チームの一員として、看護師と連携をとりながら、患者さんの療養生活に携われることに、やりがいを感ずます。時間に追われることもありますが、とてもやりがいがある仕事です。皆さんぜひ私たちの仲間になりませんか！

<ある1日のスケジュール>

- 8:45 始業
検査前待合室の椅子・ロッカーの点検、清掃/各部屋の物品補充
- 9:00 洗濯上がりの術衣を棚に収納、タオル補充、ベッドメイキング など
- 10:00 検体提出
- 11:30 各検査室の薬品請求の受け渡し
- 13:00 昼休み
- 14:00 各検査室の物品補充・吸引ピンの交換
- 16:00 環境整備(ベッドやロッカーなどの清掃、各検査室片付け)
- 17:00 終業



人の役に立てる仕事がしたくて、看護助手になりました。



病棟勤務 7年目
主な仕事の一つである患者さんの搬送業務では、入院患者さんを検査室や診察室まで送迎します。患者さんにより、歩き、車いす、ストレッチャーなど搬送方法が異なることもあり、患者さん一人ひとりに対して配慮すべきポイントが違います。看護助手の仕事は、覚えることや考えることが多くありますが、患者さんから感謝の言葉をいただいた時、この仕事に

就職活動中の方へメッセージ

看護助手は、資格や、医療の知識、経験がなくても挑戦することができ、現場で看護師のサポートを間近で行うため、働きながら幅広い知識を得ることが可能です。人の役に立ちたい、体力に自信がある人に向いている仕事だと思います。

<ある1日のスケジュール>

- 8:30 始業
オペ室送迎、中央材料室で滅菌物のチェック、清拭タオル準備、院内洗濯物を出す
- 8:50 薬品請求・他科依頼書の整理、薬剤科へ使用済み点滴ワゴン返却・薬品をピックアップ、ベッドメイキング、部屋移動、清拭車の片付け など
- 12:30 昼休み
- 13:30 中央材料室で滅菌物の片付け
- 14:00 入院患者さん案内、定期シーツ交換
- 16:00 外来での業務
- 16:30 終業

※オペ室送迎、検体出し、患者さん搬送などは随時あります。また曜日により機械浴介助、検査ワゴンの準備なども行います。

